

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22065	事業名	創業等支援事業			
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		予 算 科 目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化			款	07:商工費
		施策の方向	04:新たなビジネスの創出			項	01:商工費
		重点プロジェクト	-			目	02:商工業振興費
事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		三重県市町連携型中小企業金融支援補助金交付要領			

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	産業環境部
課	商工観光課 商工業振興G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	地域の創業支援機関と連携し、創業セミナーの開催等、創業支援に取り組んでいる。今後は、セミナー等での知識習得に加え、創業を希望する人がさらに一歩を踏み出しチャレンジできる環境の充実を図っていく必要がある。	市内での創業を希望する人及び創業後間もない人	市内での創業を促進し、地域産業の活性化を図るとともに、雇用対策を推進する。	専門家を講師とした創業支援セミナーや個別相談会を開催する。また、空き店舗等の活用への支援や創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給するとともに、創業後においても亀山商工会議所をはじめとした地域の創業支援機関と連携し、継続的な支援を行う。さらに、創業にチャレンジできる環境を設けて創業の機会を提供する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	創業セミナーは全4回開催し、定員上限の20人が参加し、そのうち令和4年度における市内の創業件数は2件であった。また、空き店舗等活用支援補助金は2件、創業資金利子補給制度は3件、保証料補給制度は2件の申請があった。	創業セミナーは全4回開催し、17人が参加し、そのうち令和5年度における市内の創業件数は3件であった。また、創業資金利子補給制度は3件の申請があった。空き店舗等活用支援補助金は申請がなかったため、次年度に向けて制度の見直しを行った。	創業セミナーは全4回開催し、12人が参加し、そのうち令和6年度における市内の創業件数は2件であった。また、空き店舗等活用支援補助金は2件、創業資金利子補給制度は4件、保証料補給制度は6件の申請があった。			
計画額	予 算 額	事業費	5,800千円	5,700千円	5,800千円	4,440千円	5,800千円
		国・県支出金	400千円	390千円	400千円	125千円	400千円
		地方債		0千円			
		その他		0千円		3,555千円	
		一般財源	5,400千円	5,310千円	5,400千円	760千円	5,400千円
決算額	決 算 額	事業費		3,994千円		1,200千円	4,440千円
		国・県支出金		26千円		62千円	72千円
		地方債		0千円		0千円	0千円
		その他		0千円		0千円	3,555千円
		一般財源		3,968千円		1,138千円	813千円
①期間内計画額(R4-7)		23,200千円	②期間外計画額(R8-)	-	①+②総計画額	23,200千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	4,440千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	創業セミナー受講者数	活動	人	計画値	15	15	15	15
				実績値	20	17	12	
創業者数	創業セミナー受講者のうち市内创业者数	成果	事業者	計画値	3	3	3	3
				実績値	3	5	5	
創業資金融資制度利用者数	新たに創業資金融資にかかる保証料及び利子補給の対象となった市内创业者数	活動	事業者	計画値	8	8	8	8
				実績値	4	0	9	

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C)	<p>A</p> <p>創業セミナーについては、平成25年度の開始時から受講者数は172人、市内での創業件数は累計で35件となり、新規創業を目指す人や第2次創業を検討する人の効果的な場となり、市内での創業を促進することができた。また、空き店舗等活用支援事業補助金は、制度を見直したことにより、2件の補助を行い、空き店舗の解消によるにぎわいの創出を図ることができた。さらに、创业者の資金繰り支援を継続して行ったことで、创业者の負担軽減を図ることができた。</p>
	十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
市内での創業を希望する人及び創業後間もない人	市内での創業を促進し、地域産業の活性化を図るとともに、雇用対策を推進する。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
空き店舗等活用支援事業の補助制度を見直すなど、创业者のニーズに応じた支援を実施してきたが、消費者の行動の変化や创业者のニーズの多様化など、時代の変化に即応して支援制度を改善していく必要がある。また、创业者にとって資金繰り支援は重要であるため、引き続き制度の活用について促していく必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの
新たなにぎわいを創出していくため、商工会議所と連携して、創業に向けて一歩が踏み出せるような創業セミナーを実施する。また、创业者のニーズを的確に把握し、必要に応じて支援制度の見直しを図る。	にぎわいの創出及び地域産業活性化のため、第3次総合計画に掲げる施策の方向に基づき、創業支援を実施する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴				
成果判定	A	A	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	産業環境部 商工観光課 商工業振興GL 水野 英樹
最終評価者	産業環境部 商工観光課長 原 千里